

Connecting Lives, Sharing Cultures

人とつながる、世界と生きる。

アジア高校生架け橋プロジェクト

-クラスから広がる架け橋-

2019年6月28日（金）

AFS日本協会架け橋プロジェクトチーム

五嶋 春奈



概要：

■ 内容

5年間でアジア諸国から1000人の高校生を日本に招聘

- ✓ アジア高校生を6～10か月間、日本で勉強させるための招聘
- ✓ ホームステイや寮での生活をしながら、日本の高校で勉強
- ✓ 休日には文化体験、地域交流、国内企業での体験学習や視察

■ 年間招聘人数と期間

年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
招致予定人数	100	200	200	250	250
期間	6か月	8か月	10か月 (予定)	10か月 (予定)	10か月 (予定)

2018年度プロジェクト報告：

■ 招聘期間：2018年8月21日～2019年2月17日

■ 招聘対象国：17か国・100名（男29名、女71名）

仏教	イスラム教	キリスト教	ヒンドゥー教	その他
35名	20名	19名	8名	18名

■ 受け入れ協力校：

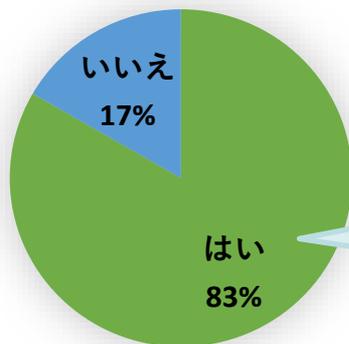
国公私	校数	人数
国立	4校	4名
公立	28校	31名
私立	37校	65名
合計	69校	100名



■ 受け入れ先：家庭配属・49名、
寮配属51名（学校寮44名、民間寮7名）

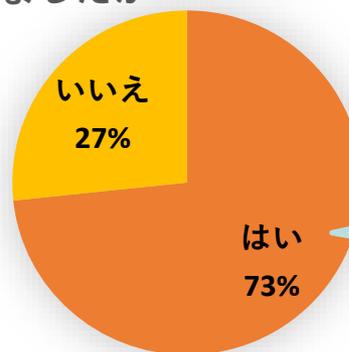
■ 事業インパクト：

質問1：架け橋奨学生の出身国に対する理解度が在
校生の間で高まったように見受けられますか



イスラム教のバックグラウンドを持つ彼女により、宗教に関する理解が深まった(ヒジャブ、お祈り、食べ物のこと等)。また、2018年9月インドネシアのスラヴェシ島で起きた地震津波に対し、受入クラスが全校生徒に呼びかけ募金活動を行い、被災地のことを学び、行動し、募金を寄付するということがあった。

質問2：留学に対する意識の変化を在校生から
感じましたか



長期留学への参加者は以前から多かったが、留学生の貪欲な学習への取り組み姿勢から、留学中あるべきモデルケースを目にすることができた。彼のクラスメイトでトビタテ留学JAPANの留学先としてカンボジアを選択したものがいた。

2019年度プロジェクト :

- 受入期間 : 2019年8月～2020年3月
(8月24日配属地域移動、3月22日上京)
- 対象者 : 日本の高校が受け入れ可能な、15歳～18歳
- 応募資格 :
 - 派遣国の国籍を有する者。
 - 派遣国において将来のリーダーとなりうる者。
 - 学習意欲が高く、成績上位1/4以上の者。
 - 派遣国と日本の架け橋として活躍する意欲を持つ者。
 - 日本語学習者、もしくは日本語学習希望者。
 - 経済的な必要性がある者。

2019年度参加留学生の出身地：

中国、香港、韓国、モンゴル、タイ、
カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、
マレーシア、シンガポール、ブルネイ、
フィリピン、インドネシア、スリランカ、
インド、ネパール、パキスタン、ブータン、
バングラデシュ、モルディブ、
トルコ



KAKEHASHI TIMES (カケハシ通信)



AFS日本協会HPよりご覧いただけます。
<https://www.afs.or.jp/kakehashi-times/>